

Tokushima University Hospital

News Letter

徳島大学病院ニュースレター2010 SUMMER 発行: 徳島大学病院

No.11

卒後臨床研修制度が始まってすでに6年が経過し、その功罪が議論されています。最近では、必修研修が短縮して選択研修の部分が増加していますが、いずれにしても2年間の初期研修の間をどう過ごすかは、これから医師を目指している皆さんにはとても重要な関心事でしょう。

研修医にとって「良い初期研修とは何か」は、研修医個々の将来設計が変わるでしょうが、共通することは、「良き指導者」と「良きプログラム」があることといえます。そして、先輩や設備などの「良き環境」があるのも重要です。最近、研修病院として大学病院が見直されているのも、大学病院がこれらの条件をより満たしているためではないでしょうか。

どうか、有意義な2年間の研修であることを心より祈っています。そして、それが徳島大学病院とともにあることを切に期待しています。

(2010年 夏)



病院長 苛原 稔

平成22年度プログラムの研修が始まりました。

平成22年4月1日より、新しく22年度プログラムの研修医を迎えました。今年度は、臨床研修制度が必修化され改編が行われてはじめてのプログラムであり、各研修医それぞれの希望進路に合わせた研修内容となっているため、誰一人として同じプログラムはありません。また協力病院も増設し、2年間の研修期間中に高松や高知、松山だけではなく、北海道や東京で研修を行う研修医もいます。

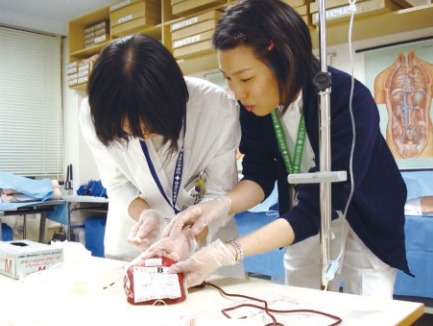
徳島大学病院プログラムには、1年次32名、2年次31名の合計63名の研修医が在籍しています。研修医が増えて、ますますにぎやかになった卒後臨床研修センターです。研修医室では、2年次の研修医が1年次研修医を指導したり、相談にのっている様子が見られます。普段の診療だけではなく、仕事外の時間でも誕生日を祝ったり、食事にいったりと研修医同士で楽しんでいるようです。昨年度に引き続いて、研修医向けのオリエンテーションを行いました。新人看護師との「コミュニケーション研修」で交流を深め、病棟での研修もさらに円滑に行われるようになると期待しています。また、オリエンテーション期間中に「徳島大学病院新人歓迎会」を徳島市内のホテルで開催し、病院長、副院長、各診療科指導医、看護部、看護師長等に参加していただき、総勢165名の大変盛況な会となりました。暖かく迎えられ、時には厳しく指導をうけて職業人として成長していく新人研修医、看護師の今後が楽しみです。今後も引き続き研修医の育成にご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲徳島大学病院 新人歓迎会



▲研修医と新人看護師のコミュニケーション研修



▲研修医教育講座「輸血ラインの作り方」



後列:卒後臨床研修センター事務スタッフ、
前列:左から 山本恭代センター教員、佐田政隆センター長、西京子副センター長、濱谷知彦センター教員

「卒後臨床研修センター」新メンバーに！

2010年4月より徳島大学病院卒後臨床研修センターは、センター長に循環器内科の佐田政隆教授が就任致しました。専任スタッフには、西京子副センター長(講師)、山本恭代助教、新たに消化器・移植外科から宮谷知彦助教が加わりました。さらにセンターの運営委員として、研修科関連の教員、安全管理対策室、看護部、薬剤部、診療支援部、病院情報センターなどが参加しています。各診療科には卒後研修主任が1名ずつ配置され、センターと診療科間の連絡をこまめに取り、研修がスムーズに行えるようになっています。研修医数の増加に対応すべくセンターの体制も改編しています。

今まで以上にきめ細やかな対応が可能になるようスタッフ一同努力していきます。研修医が充実した研修を積めるように、研修環境やプログラムの改善とともに研修医1人1人に合わせた指導を行っていききたいと思います。

平成23年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

平成23年度の卒後臨床研修プログラム内容が決まりました。卒後臨床研修制度の改編に伴い、今年度と同様に各研修医の自由度を増やしたものになっています。内科6か月、救急3か月、地域医療1か月が必修科目、選択必修(外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科)の5科の中から2科を選択)が2か月、残りの期間は、将来の進路に合わせて各研修医が希望診療科を選択科として研修できるプログラムです。パターン1から4までの4つのプログラムがあり、徳島大学病院での研修期間は8か月以上必要です。協力病院については、ホームページを参照ください。

2011年 〔平成23年〕												2012年 〔平成24年〕				2013年 〔平成25年〕											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
内科						救急		選択必修		選択		地域		選択													
6か月						3か月		2か月		1か月		1か月		11か月													

(※)到達目標の達成に必要な研修科を選択

パターン1 3病院連携プログラム

徳島大学病院(徳大)、徳島県立中央病院(県中)、徳島市民病院(市民)とのコラボレーションが可能な人気のプログラムです。必修科、選択必修、選択科のうち何科の研修をどの病院で、どの期間に行うかを研修医が自由に決めることができます。



徳島県

マッチングスケジュール(2010年)		8月25日(水) 第二回選考試験(面接)		10月1日(金) マッチング中間公表	
6月24日(木) マッチング参加登録開始	8月25日(水) 第二回選考試験(面接)	10月1日(金) マッチング中間公表			
8月2日(月) 第一回応募締切	8月26日(木) 第三回応募締切	10月14日(木) マッチング希望順位登録最終締切			
8月12日(木) マッチング参加登録締切	9月5日(日) 第三回選考試験(面接)	10月28日(木) マッチング組み合わせ結果発表			
8月12日(木) 第一回選考試験(面接)	9月16日(木) マッチング希望順位登録受付開始				
8月16日(月) 第二回応募締切	9月30日(木) マッチング希望順位登録中間公表前締切				

研修医紹介

質問事項
①氏名 ②コメント

1年目研修医

宇高 良	太田 理絵	大政 曉	門田 宗之	小林 愛貴美	阪梨 友	崎山 勉	末廣 英也	
先は長いですが1日1日着実に力をつけている事を実感できるような研修にしていきたいです。	徳島に戻って参りました。何事にも全力で取り組んでいきます。	早く一人前になれるように、小さな事からコツコツと積み重ねていきたいと思っています。	今までお世話になった方々、そして徳島県に少しでも恩返しできるような努力を重ねます。	「先生」と呼ばれることに戸惑いを感じています。どんな時も人の心に寄り添える人間でありたいと思います。	研修開始早々入院となりましたが、体調が良くなり次第、頑張ります！	一日生きることは一歩前進することでありたい。	淡路島出身ですが、徳島の医療に貢献できるよう一所懸命研修します。	
高岡 慶史	高柳 友貴	田村 潮	外備 千智	中澤 浩恵	新居 沙央里	西山 徹	森野 寛隆	
早く仕事になれて、役に立てるように頑張りたいと思います。	亀のようにゆっくりでも前に進み、着実にゴールできるように頑張ります。	日々、少しずつ進歩できるよう努力します。あたたかく見守ってください。	患者さんに安心してもらえる医師になりたいです。	少しでもお役に立てるように働きます。	楽しく研修生活を送れるよう精一杯頑張つて一人前の医師を目指します！	昨日より今日、今日より明日、日々成長していけるよう努力します。	医師としても、社会人としても一年目。戸惑うことも多いと思いますが、何十年後に振り返って恥ずかしくない一年目にしたいです。	
原 知也	緋田 哲也	富士田 祥子	松岡 百目世	2		2年目研修医		
天才じゃなかった、造材じゃなかった、できる事だけをやるっきゃないからやるだけじゃん！	患者さんとスタッフのみなさんに医師として認められるような医師を目指して、1日1日を大切にしていきたいと思っています。	これから先色々なことを吸収して、誠実で思いやりのある医師になりたいと思います。	日々新しい事を学び、実り多い研修となるように努力します。好奇心、向上心を常に持って取り組むようにしたいです。			小笠原 梢	大西 皓貴	鹿草 宏
失敗と反省の連続ですが、とても充実した毎日を送っています。前進あるのみ！熱いご指導よろしくお願いします。	初心を忘れず日々努力します。	ひと足早く専門研修がはじまり、つまづきながらも日々邁進しています。何があっても笑顔で向かっていこうと思います。	研修は修得すべきことでありますが、少しずつでも自分の勉強を積み重ねて成長したいと思います。	患者さんやご家族に信頼して、頂ける医師になれるよう、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。	4月から後輩が入ってきたので、後輩への指導を通じて自分の糧としていきたいです。	コミュニケーションを大切にしたいがばります。よろしくお願ひします。	津川 愛	津田 達也
笠井 可葉	門田 尚子	河見 貴子	河南 真吾	近藤 真代	太原 一彦	宮本 康雄	三崎 万理子	
失敗と反省の連続ですが、とても充実した毎日を送っています。前進あるのみ！熱いご指導よろしくお願いします。	初心を忘れず日々努力します。	ひと足早く専門研修がはじまり、つまづきながらも日々邁進しています。何があっても笑顔で向かっていこうと思います。	研修は修得すべきことでありますが、少しずつでも自分の勉強を積み重ねて成長したいと思います。	患者さんやご家族に信頼して、頂ける医師になれるよう、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。	4月から後輩が入ってきたので、後輩への指導を通じて自分の糧としていきたいです。	コミュニケーションを大切にしたいがばります。よろしくお願ひします。	患者さん一人一人にあわせて医療を提供できるよう、努力します。	
榎端 透史	仁木 昌徳	坂東 美佳	福岡 亮介	堀田 美香	松本 早代			
といはなと申します。初心を忘れず、日々成長していきたいと思っています。	まだまだ分からないことが多いですが、毎日多くのことを勉強したいと思っています。よろしくお願ひします。	初心を忘れず、患者さんに誠実な医師になれるよう努めていきたいです。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくおねがいします。	どうも、フクマです。病院が変わり、慣れないながらも日々楽しくやっております。よろしくお願いします。	初心を忘れず仕事に励みたいと思います。よろしくお願いします。	1日1日を大切に、日々全力で頑張りたいと思います。	消化器内科で1年間研修しています。様々な分野の知識を身に付けられるよう努力していきます。	初心を忘れず頑張りたいと思います。よろしくお願いします。	

卒後臨床研修センターリニューアル

卒後臨床研修センターは平成22年3月にリニューアルしました。臨床研究棟3階から東病棟2階の食堂跡に移転し、病棟や中央診療棟も近く、研修に便利な場所となり、研修に集中できるようになりました。今まで2つに分かれていた研修医室がワンフロアとなり、研修医1年目と2年目の交流も深まり、くつろげる空間になっています。また本年度より大学病院での研修医数が増加して、1年目と2年目の研修医で屋根瓦式の研修も徐々に確立されつつあります。専任スタッフ室や面談室、研修医教育講座や会議が開催できる講義室も備えられました。

今回のリニューアルからも徳島大学病院が卒後臨床研修に力を入れており、研修医のためのアメニティ向上に努めているのがよくお分かりになると思います。ぜひ、お時間があるときに一度お立ち寄りください。



▲卒後臨床研修センター入口



▲プレゼンテーション練習



▲研修医室



▲誕生日のお祝い

編集後記

春が来て、新しい研修医をお迎えしました。研修医数が増えて、毎年卒後臨床研修センターは明るく、華やかになっています。皆様も病院内で研修医の姿を見かけることが多くなっているのではないですか。よりよい医師として彼らが成長できよう、温かく見守っていただけることを希望しております。卒後臨床研修に関すること、このニュースレターに関すること等、何かありましたらご連絡ください。(Y)

■ ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359または9976 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp
URL: <http://www.tokudai-sotsugo.jp>